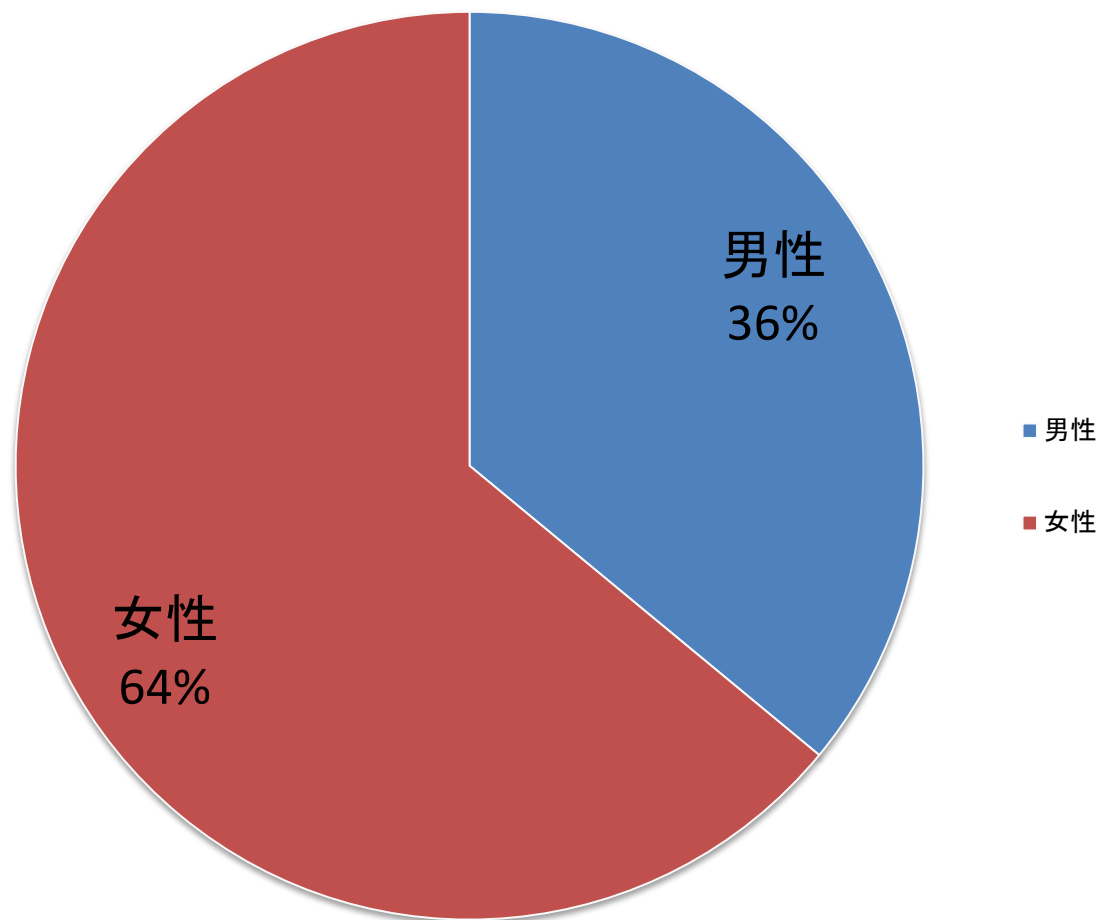


---

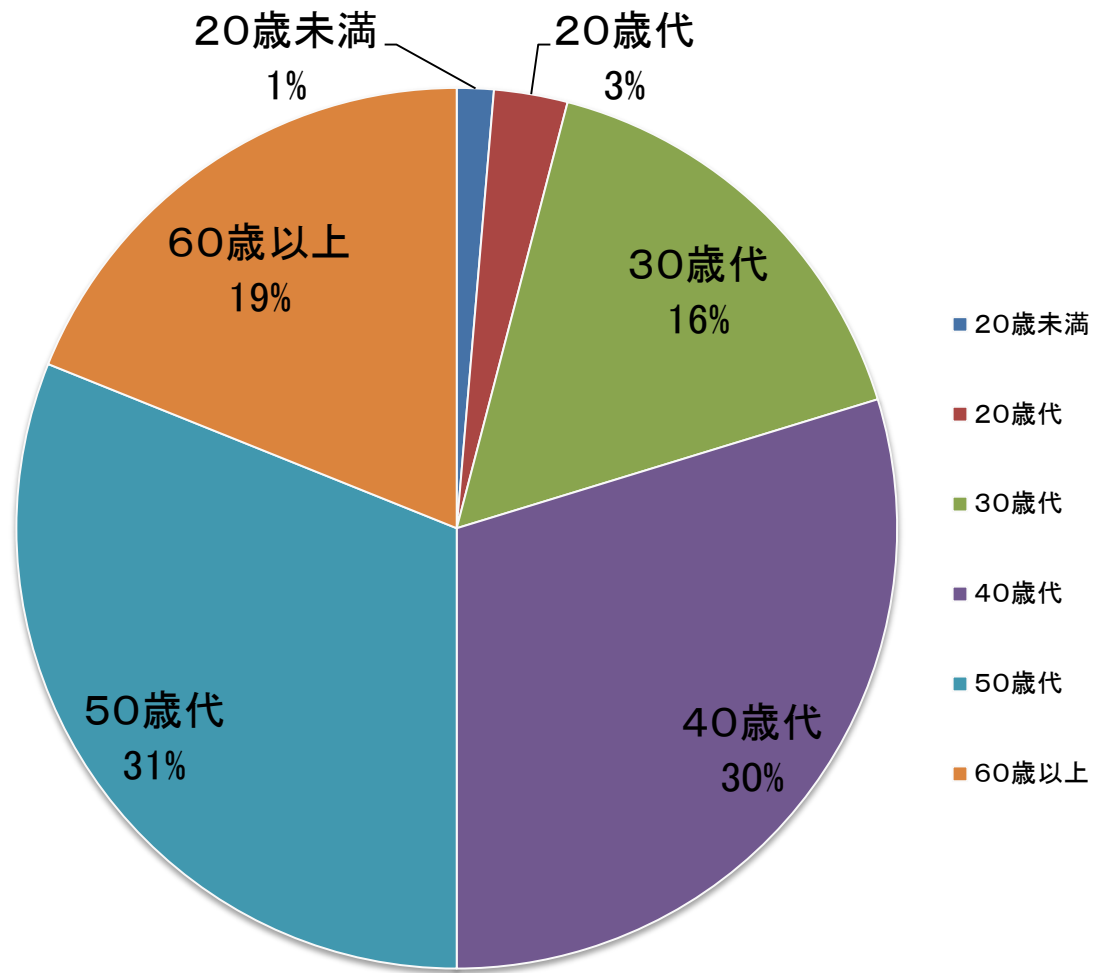
練馬区在宅療養推進事業  
第2回事例検討会  
-アンケート結果-

---

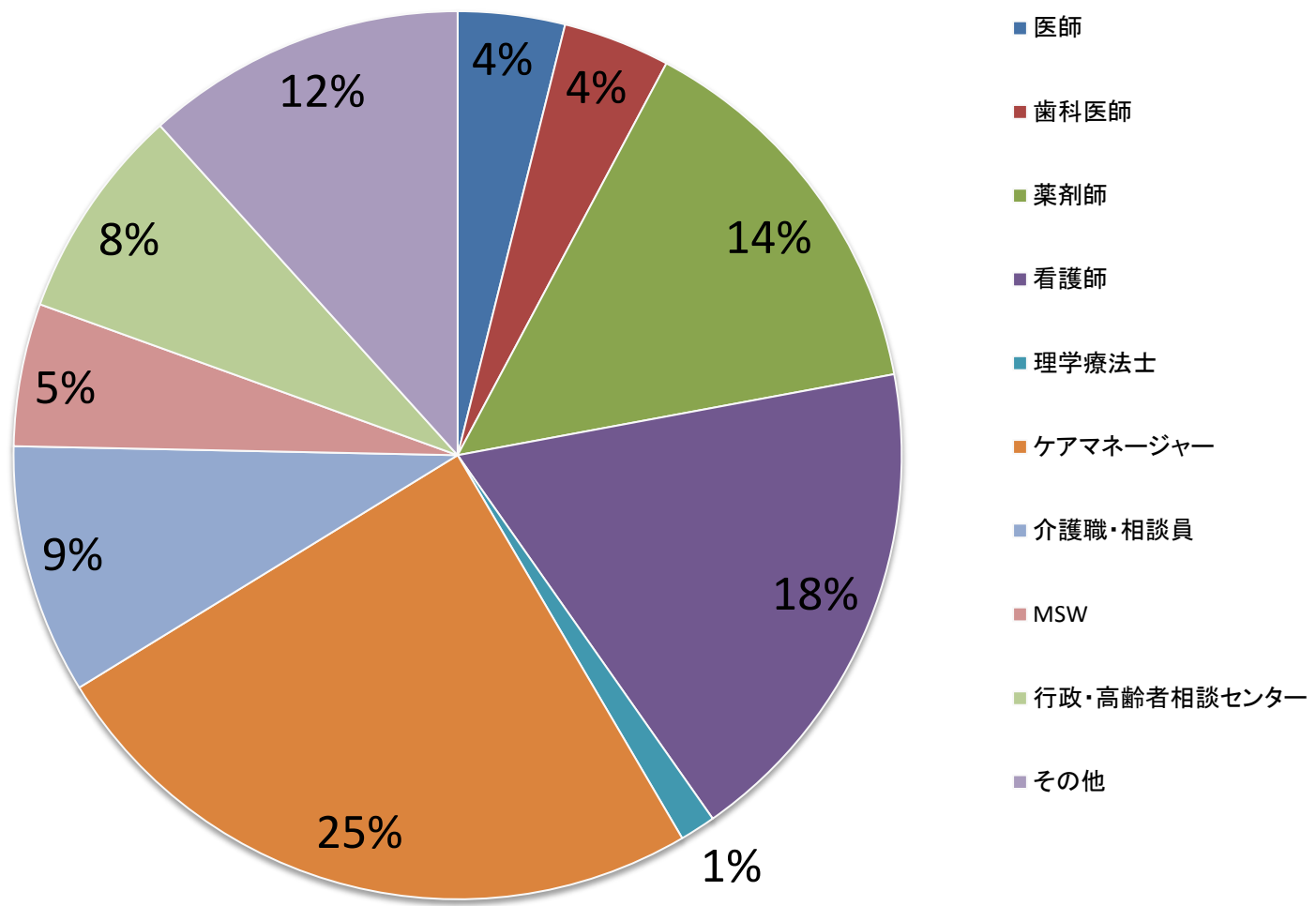
## 【設問1】回答者プロフィール①性別



## 【設問2】回答者プロフィール②年齢

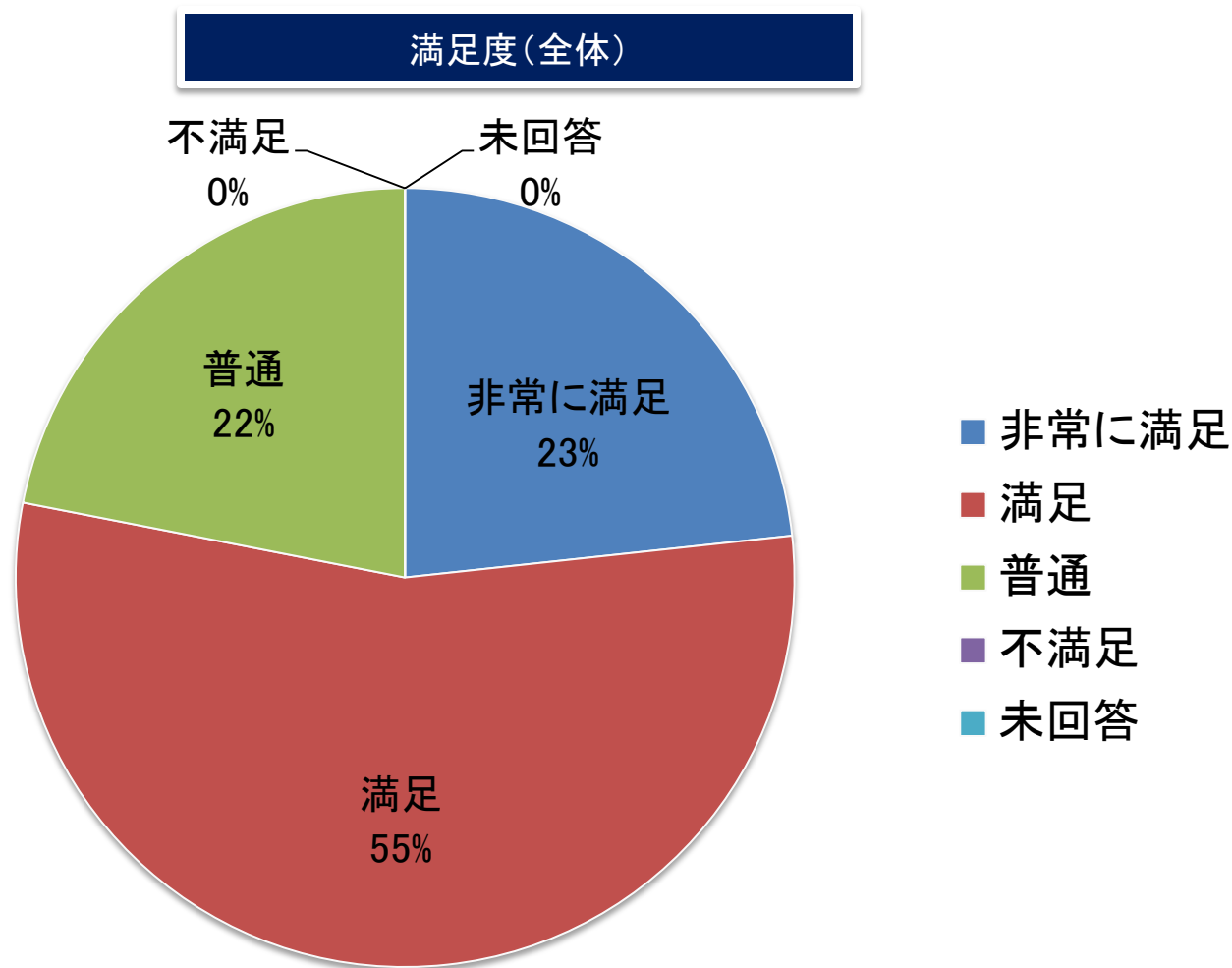


# 【設問3】回答者プロフィール③職種



## 【設問4】事例検討会の満足度について、お聞かせ下さい。(①全体)

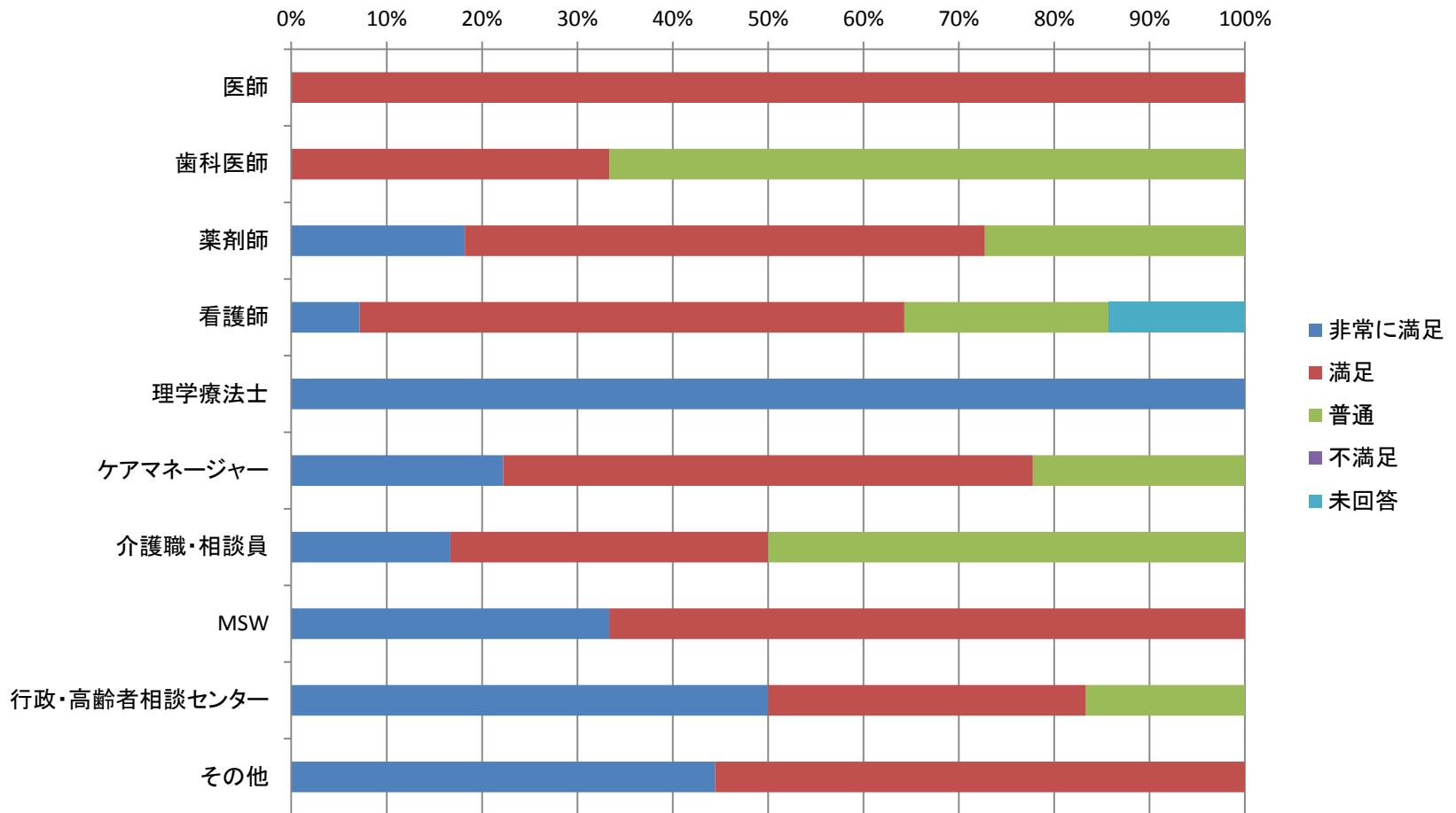
### ■ 約80%の方が満足したと回答



# 【設問4】事例検討会の満足度について、お聞かせ下さい。(②職種別)

## ■ 医師については全員が満足したと回答

満足度(職種別)



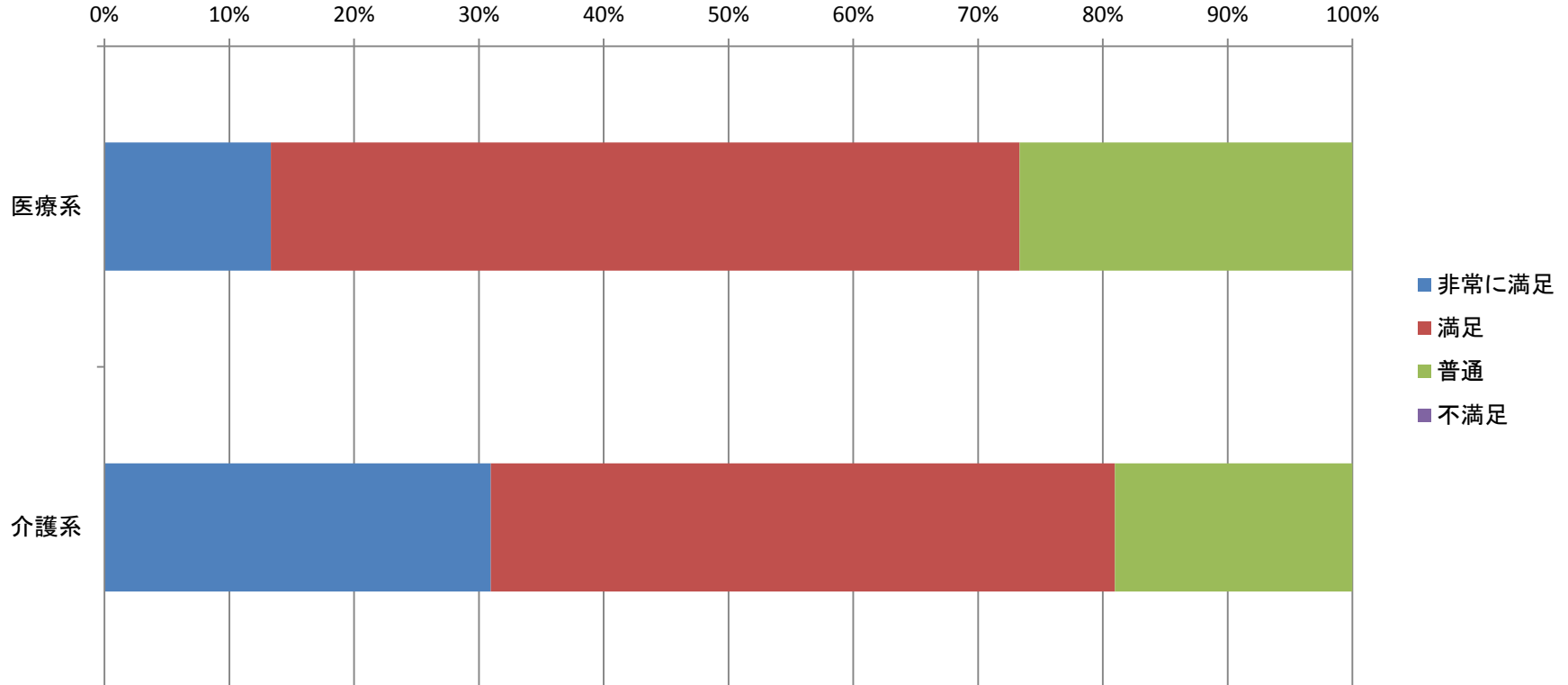
# 【設問4】事例検討会の満足度について、お聞かせ下さい。(③医療・介護職別)

## ■介護系職種の方が満足度が高い

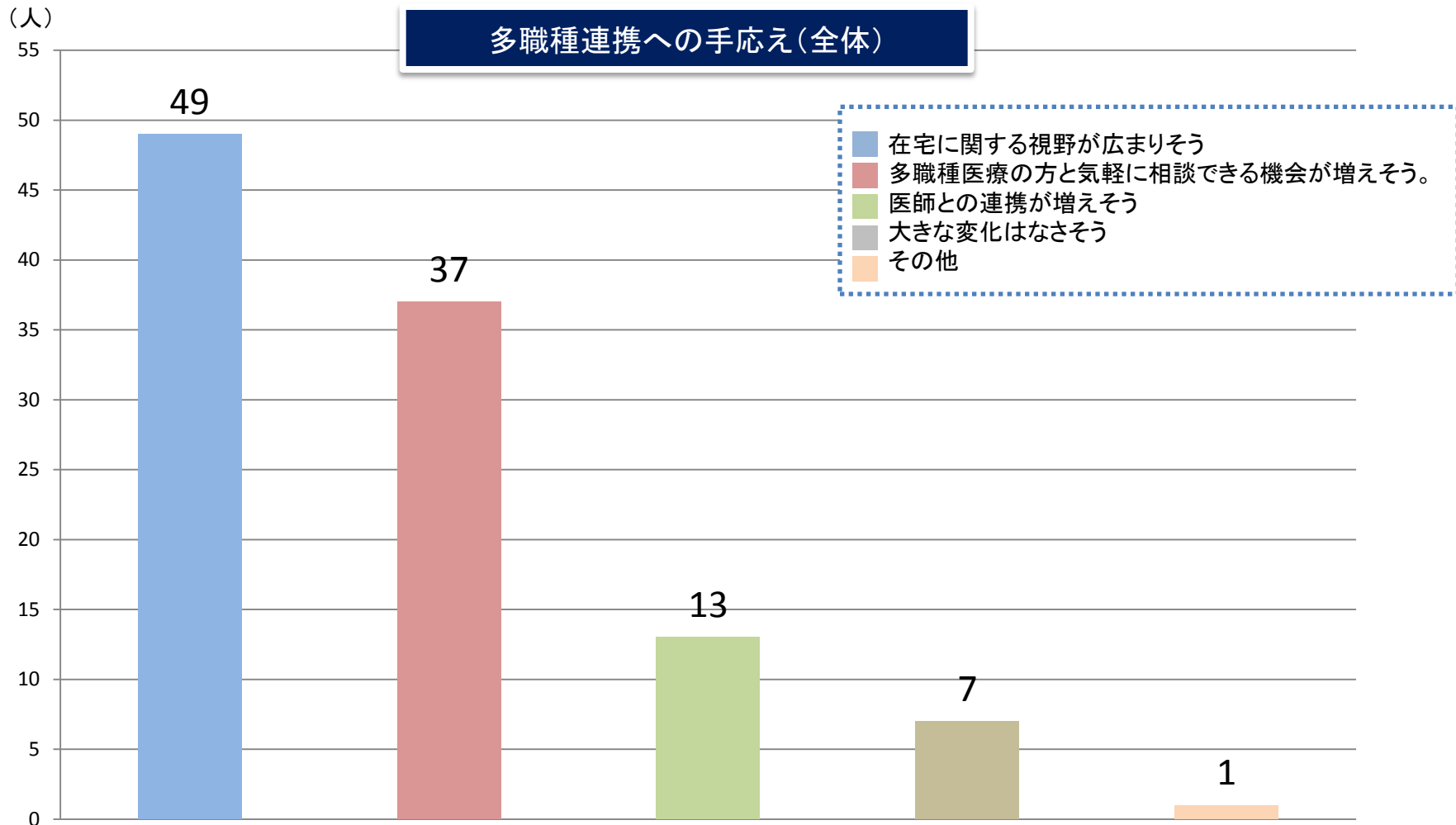
※医療系: 医師・歯科医師・薬剤師・看護師・理学療法士

※介護系: ケアマネージャー、介護職・相談員、MSW、行政高齢者相談センター職員

満足度(医療・介護職別)



■ 約9割弱の方が何らかの手応えを感じている





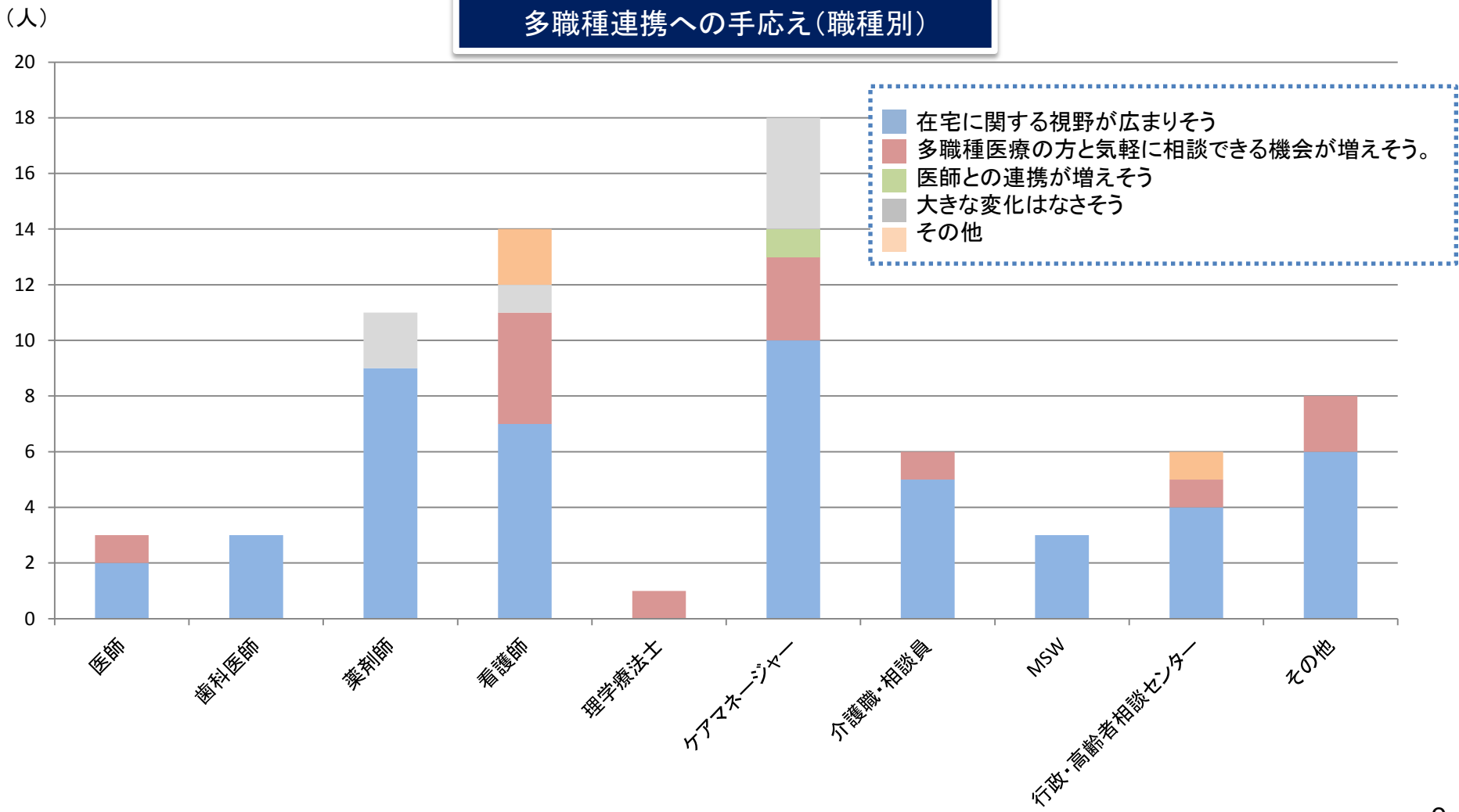
# 【設問5】事例検討会に参加して、多職種の方との関わりで感じたことはありますか？

(②職種別)

※複数回答可

■ ケアマネージャの中に変化を期待できていない人が多い。

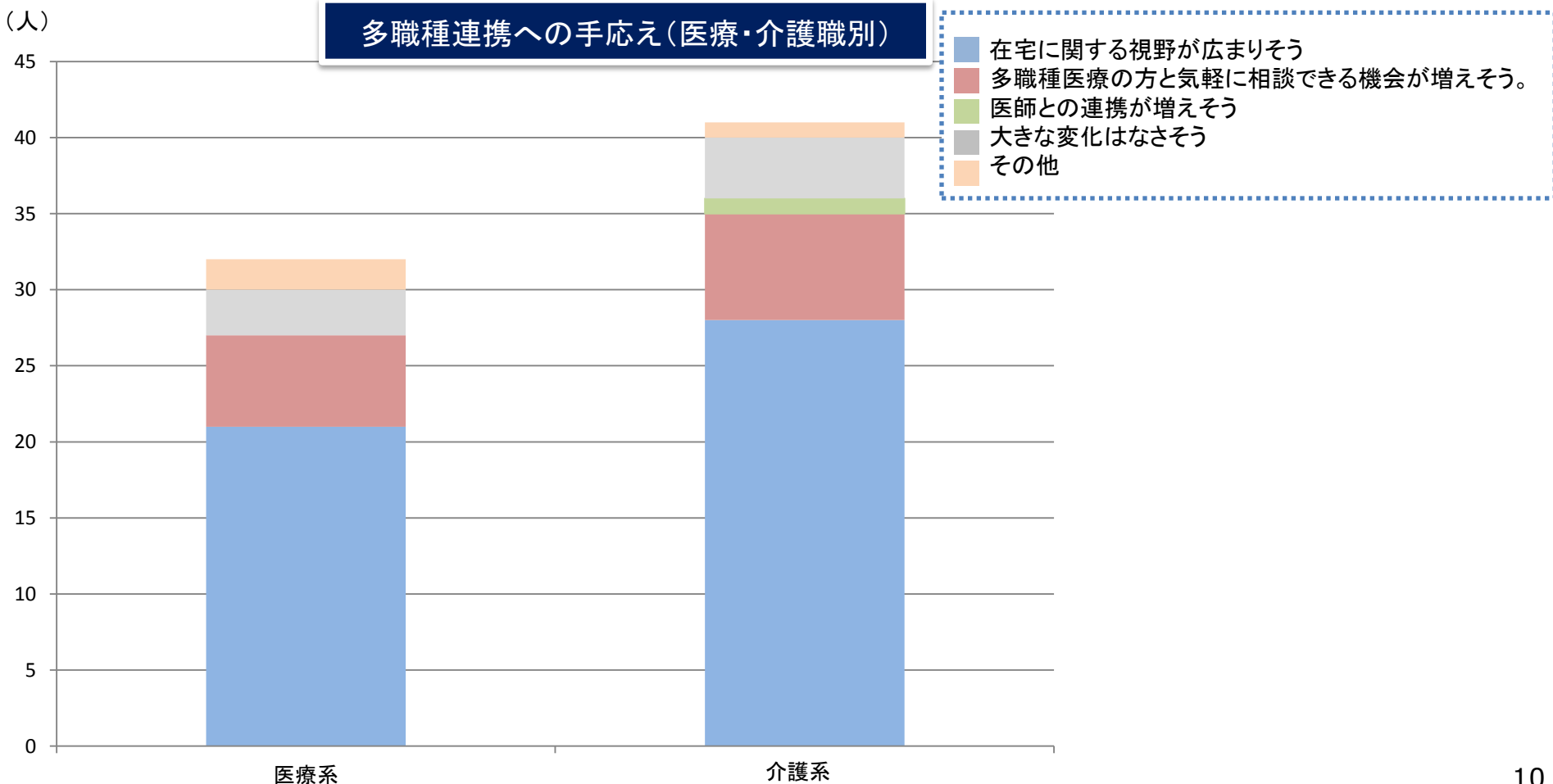
多職種連携への手応え(職種別)



### ■介護系職種の方が手応えを感じている人数が多い

※医療系：医師・歯科医師・薬剤師・看護師・理学療法士とし

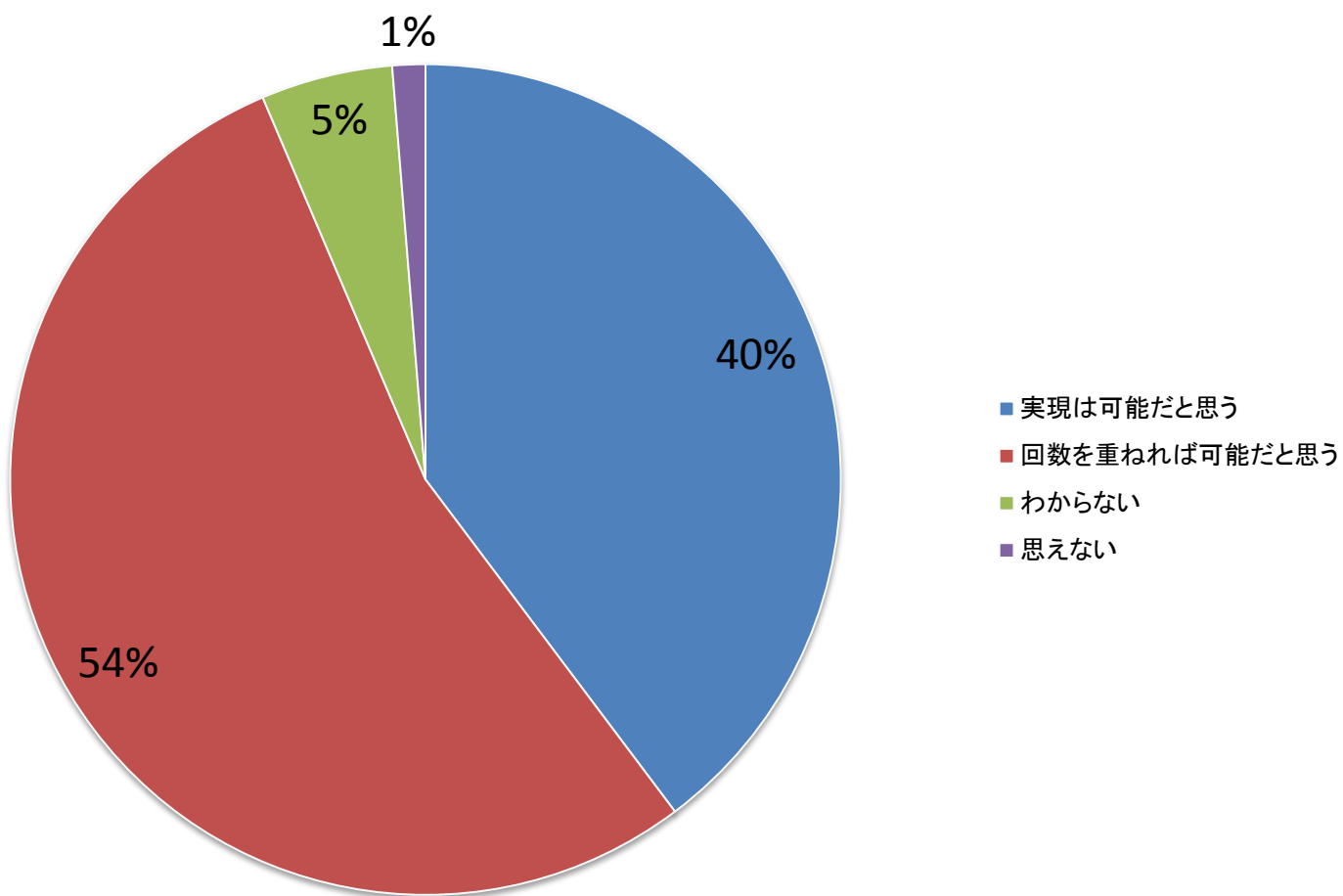
※介護系：ケアマネージャー、介護職・相談員、MSW、行政高齢者相談センター職員とした。



【設問6】事例検討会やその他研修を通して在宅医療介護の連携が実現できると思いますか。  
(①全体)

## ■ 約9割の方が実現可能と回答

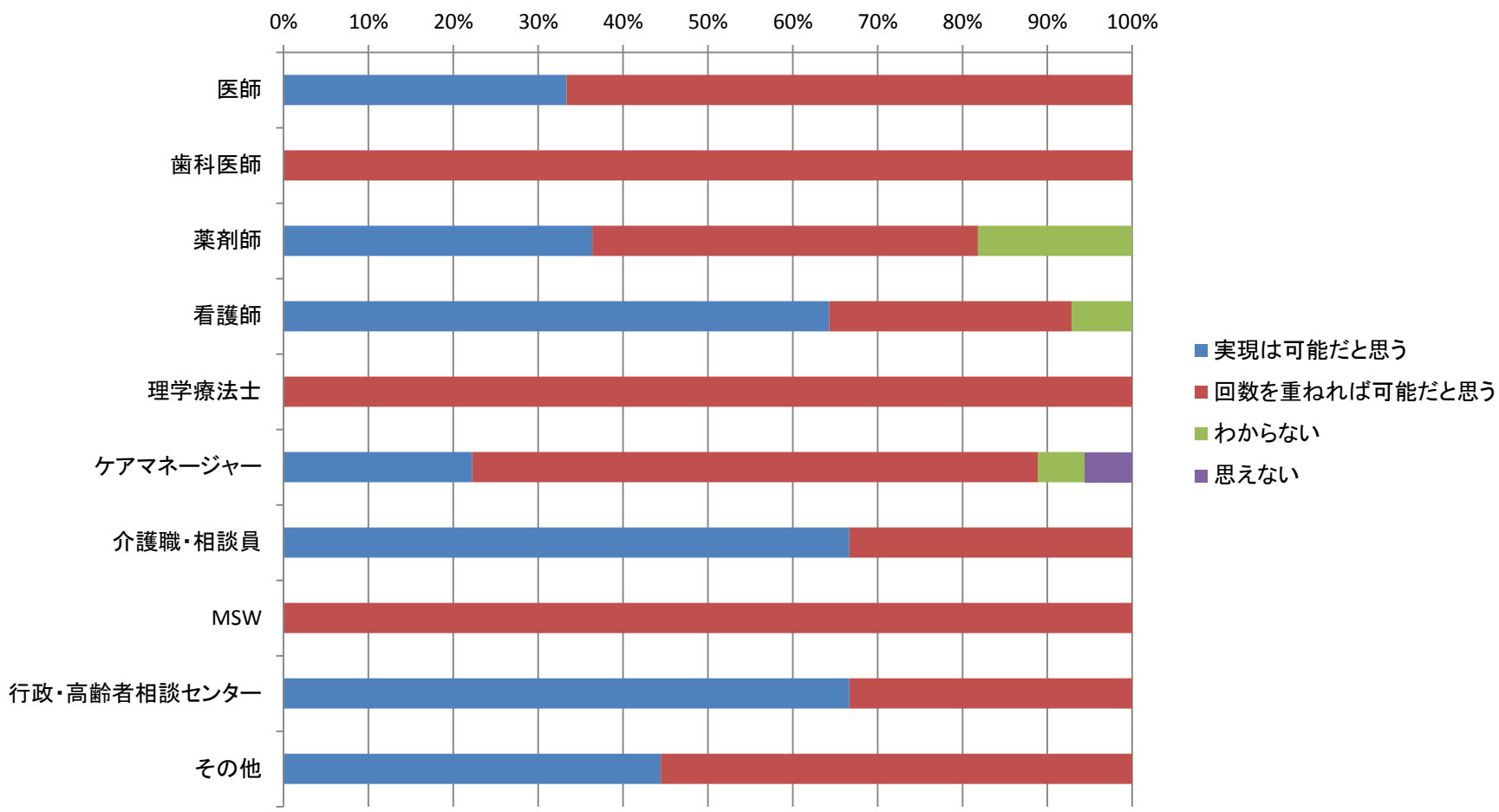
多職種連携の実現期待度(全体)



【設問6】事例検討会やその他研修を通して在宅医療介護の連携が実現できると思いますか。  
 (②職種別)

■ 医師および歯科医師の全員が実現可能と回答

多職種連携の実現期待度(職種別)

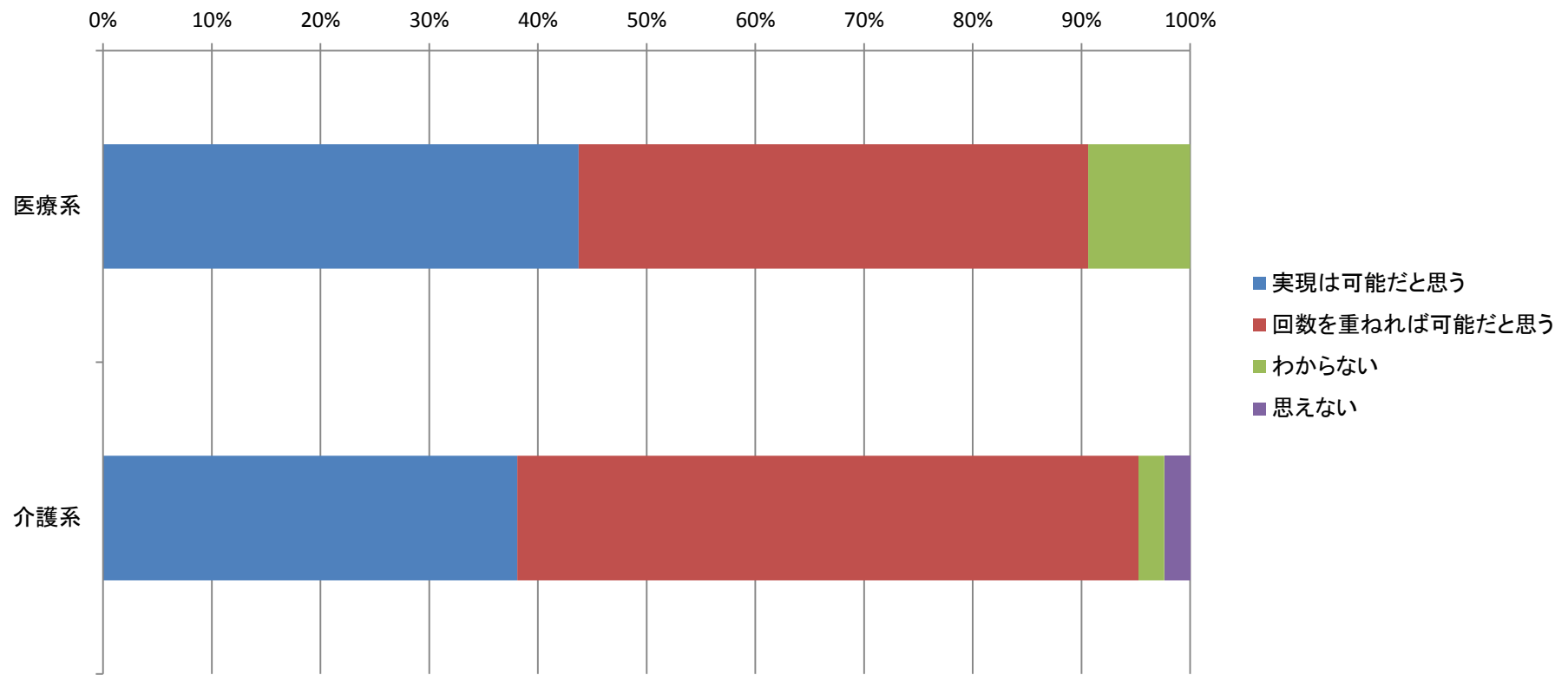


# 【設問6】事例検討会やその他研修を通して在宅医療介護の連携が実現できると思いますか。 (③医療・介護別)

## ■医療系職種の方が実現期待度がわずかに高い

※医療系: 医師・歯科医師・薬剤師・看護師・理学療法士とし  
※介護系: ケアマネージャー、介護職・相談員、MSW、行政高齢者相談センター職員とした。

多職種連携の実現期待度(職種別)



### ■設問4: 事例検討会の満足度について、お聞かせ下さい。

1:非常に満足 2:満足 3:普通 4:不満足

#### 1:非常に満足を選ばれた方の理由

- ・他職種の方の話が聞けた。
- ・各職種の動きや気持ちもわかりやすかった。
- ・認知症の終末期の連携やプロセスについてとても参考になりました。
- ・事例の内容がとても考えさせられた内容だった。
- ・認知症の事例が明確な説明で良かった。関係者の連携がうまくつながっていた事例だと思う。
- ・これまで多職種でこうした事例検討ができる機会はなかったのではないかと、貴重な機会であった。
- ・長期間、しかもいろいろな問題の入り混じった症例で、大変勉強になりました。
- ・認知症のご利用者様の尊厳を重んじつつ、家族ひとり一人の思いを受け止め、かかわる関係者が密に連携を取り、最善をつくして在宅での看取りができた経験を聞くことができた。
- ・各職種の方からの率直な思いを聞くことができよかったです。
- ・内容についても各職種の方が業務で必要最低限やらなければいけないことだけやるということではなく、本人・家族の思いに寄り添って関わっていらっしゃることが伝わってきました。
- ・入りづらい家から非常にひらかれた家へと変化したプロセスがとても良くわかりました。
- ・良かったと思いますが、パネリストに医師も出席されたらもっと良かったと思います。
- ・いろいろな方々のお話を聞いてとても考え深いものが有りました。
- ・活発な意見交換ができたと思う。
- ・本人と家族の医師を尊重し、最期まで連携できた事例だったと思う。

### ■設問4: 事例検討会の満足度について、お聞かせ下さい。

1: 非常に満足 2: 満足 3: 普通 4: 不満足

### 2: 満足を選ばれた方の理由

- ・職種の性質上、見積もりについては知識が得にくいいため勉強になりました。
- ・内容がよく練られている。家族に寄り添った在宅での援助がとてもよかった。
- ・在宅で利用者を支援するにあたり、他職種の連携がとてもうまく行った事例だと思う。
- ・ディスカッションの時間がもっと欲しかった。ケースを関わった者達と振り返ることは少ないので、終了後にこのような機会があればそれぞれがその時点で考えていたことが再び考えられるから。
- ・具体的な事例を担当した各専門員の立場からの発表は違う角度からの支援の様子を知ることができる。
- ・多職種の方々との交流により、日常業務では得られないいろいろな情報を知ることができた。
- ・他職種の連携が素晴らしいと思った。特に何事にもわたり、我慢強く訪問を続けたケアマネージャーさんには頭が下がります。
- ・貴重な事例の経過を聞くことができた。検討の時間がもう少しあればよかったと思う。
- ・各立場からの関わり、よくわかりました。
- ・認知症の看取りについては珍しいケースで、それぞれの関わりの発表から、いろいろな面が見えました。
- ・いろいろな連携の仕方がわかり良かった。
- ・私どもも日々、お客様の終末期に立ち会わせていただき、在宅であっても同じ悩みを持たれていると感じました。
- ・一つのケースとしてチームとしての連携が結果的にはうまく出来たと感じていた。
- ・貴重な意見を聞いた。ディスカッションでの意見が多職種からの意見となっていたので。
- ・現場の具体的な意見が聞けて良かったです。

■設問4: 事例検討会の満足度について、お聞かせ下さい。

1: 非常に満足 2: 満足 3: 普通 4: 不満足

2: 満足を選ばれた方の理由 (continued)

- ・皆さんの連携がよくわかりました。他職種の関わり方を学びました。
- ・情報の共有→つながりのでわかった 極めて大きなテーマであって、単に技術だけで解ける問題ではない。しかし、各分野の真摯な姿勢を感じ、可能性を垣間見た。
- ・薬剤師が出てこなかったことは残念です。
- ・実際どのように終末期を迎えたか各事業所の考えが垣間見れた。
- ・薬剤師は直接現場に接する機会は少ないですので検討会は有意義でした。
- ・いろいろな関わりを学ぶことができた。
- ・各種の介護事例について参考になった。
- ・終末期の対応、多職種との連携がとても参考になりました。



■設問4: 事例検討会の満足度について、お聞かせ下さい。

1: 非常に満足 2: 満足 3: 普通 4: 不満足

### 3: 普通を選ばれた方の理由

- ・いろいろな視点からの話を聞くことができ良かったです。
- ・他職種の方がそれぞれの立場で考えていた。
- ・遅れてしまい、途中からしか聞けなかった。
- ・医師の意見が聞けず、残念。
- ・全体的に物語を聞いている感じでした。具体的にそれぞれの職種がどうか変わったのかを知りたかった。
- ・在宅を実際に行ったことが無いので、薬剤師が患者宅にすぐに受け入れてもらえるかわからないので、十分理解ができなかった。
- ・グループワークがないのが残念です。グループワークしたかった。
- ・初回の参加で、在宅支援の経験が乏しいので。
- ・交流会と分けた方がいい。交流会は別日に設定してほしい。
- ・認知症の人が多くなっていることで、事例としてとりあげたのかもしれませんが認知症の介護はつくづく難しいと感じました。

### 4: 不満足を選ばれた方の理由

選択者なし。

### ■設問5: 事例検討会に参加して、多職種の方との関わりで感じたことはありますか？ (複数回答)

#### 1: 在宅医療に関する視野が広がりそう、選ばれた方の理由

- ・今まで異業種の連携が悪かったので。
- ・医療のニーズが高いほうが、在宅で生活しなければならない情報が多くなっている現状において、連携がとれば、サービスを提供する側も受ける側も安心考えられると思う。
- ・他職種の方の苦労が少しわかったので。
- ・サービスが発生するまでのケアマネさん大変だったと思います。
- ・家族もCM、訪看、訪介に対する態度が違う。自分が見られるのは一面だけなので、他の人はどのように見えているのか知ることができる。
- ・本来連携しなければならない専門職がうまく連携できていない現実がある。
- ・事例を通して具体的な連携が利用者を支えることができると実情として知ることができた。
- ・チームとして利用者とかかわるので連携は大きかった。
- ・薬剤師の居宅療養管理は薬を服用する正しく服用するために、管理するためにという視点がほとんどでしたが、生活に根ざした指導が今後できる気がします。
- ・今後効果的なサービスの提供には必要だと思う。
- ・看取り支援についてそれぞれの業種の視点を知ることができた。
- ・医師とのインフォームドコンセントはご家族をまじえ、頻度が増えると思います。
- ・サービスにつながるまで2年以上かかったが、関係者が見守り続けていた様子が見えた。

### ■設問5: 事例検討会に参加して、多職種の方との関わりで感じたことはありますか？ (複数回答)

#### 1: 在宅医療に関する視野が広がりそう、選ばれた方の理由(continued)

- ・他職種との関わりの中で一同に集まってということではなくて、部分的な連携ならこれまでも行ってきたと思うのですが。
- ・認知症の患者様のケアにかんして学ぶことができた。
- ・在宅医療にたいする見識が広がりました。
- ・家族へのアプローチを連携して行う必要があったから。
- ・事例を通し、今後の支援の可能性が広がりました。
- ・まだ身の回りに事例がないものですから。
- ・立場的に依頼を受けるばかりで、こちらからあまり働きかけをしたことがなかったのです。
- ・本日の集まりはとても勉強になりました。視野を広げる考え方の深さに変化がでそうです。
- ・ヘルパーも担当者会議でご家族他との同席する立場を経験している。
- ・認知症の方々とのコミュニケーションもケアを提供する側の忍耐力が求められるが、こちらがわがしっかり受け止めて上げることにより、良い関係を築いて行けるという事実が伝わってきました。
- ・これからますます重要視されると思います。
- ・初めてのことなので、今後に期待しています。
- ・介護に対する知識が広がり、対応について助けとなる。
- ・今後は在宅での看取りを要望される方が増えてくると思うので、医療との連携も重要になってくると思う。

### ■設問5: 事例検討会に参加して、多職種の方との関わりで感じたことはありますか？ (複数回答)

#### 2: 多職種の方と気軽に相談できる機会が増えそう、選ばれた方の理由

- ・他職種のかたがいらっしゃるので会話することで、今後相談ができるのではないかと思います。
- ・それでなければ努力も必要だし、協力も必要なので。
- ・各種の介護事例について参考になった。

#### 3: 医師との連携が増えそう、選ばれた方の理由

- ・様々な機会ができた。

#### 4: 大きな変化はなさそう、選ばれた方の理由

- ・今現在かかえていれば参考にしたいと思いますが、現在無いのでどなたと連携とつたらいいかわからない。
- ・これまでのも他職種との連携は大切にできていると思う。
- ・自身を取り巻く環境、他職種との連携は今でもこれからも変わりません。
- ・実際に患者さんに対応する話ではなかったため。

#### 5: その他

- ・ケアマネージャの存在が大きい。

### ■設問6: 事例検討会やその他研修を通して在宅医療介護の連携が実現できると思いますか。

#### 1: 実現は可能だと思う、を選ばれた方の理由

- ・連携を実現して行かなければならないということを知りながら、介護の立場から医療への働きかけの敷居が高いという現実を超えられないハードルがある。これを越えていかなければいけないと思う。
- ・実際それぞれの役割を果たして生活を支えていると思っています。
- ・こういった会がきっかけになると思う。努力と歩み寄りが必要でしょう。
- ・このような機会を元に事例から色々と教えられ関係者が経験を重ねることで良い方向にいくと思う。
- ・今後在宅での看取りなども増えていくので、実現できたらよりも実現していかないといけないと思います。
- ・今後の日本の状況を考えると在宅での結果は必須といえると思うので、チームとしての取り組みをたくさん経験するべきであるから。
- ・可能不可能という話ではなく必要であるから。
- ・相互理解につながる。
- ・状況が刻々と変わる中で関わる方々も変わってくる。率直な会話ができればチームができてくる。
- ・事実そういう流れなのでそうせざるを得ないのではないか。
- ・連携において情報をしっかり伝達しなければならないと感じました。
- ・そんな中で大切なのはご利用者様ご本人がどう思っているのかということ客観的に考えてあげることが大切であるという点に気付かされました。
- ・薬剤師の在宅についての勉強会には積極的に出ているので在宅医は意欲はある。
- ・初めての事なので今後に期待しています。各方面で連携について動きが活発になっている。
- ・練馬としての地域包括ケアシステムを構築したほうが良いと思う。
- ・在宅医療介護を求められていると感じる。そのため連携せざるを得ない状況になるのではないかと  
思うため。

■設問6: 事例検討会やその他研修を通して在宅医療介護の連携が実現できると思いますか。

## 2: 回数を重ねれば可能だと思う、選ばれた方の理由

- ・年に数回このような機会が必要だと思う。
- ・大泉地区の事業所との見える関係ができることで安心して利用者支援ができるようになるのではないかな。
- ・とはいえなかなか連携するには時間がかかる。
- ・回数が増えれば互いのことがよりわかりやすく、スムーズに行うことができると思われるので。
- ・問題はありますができると思う。
- ・立場の違いも思いの違いもあるので、統一していくことが大事だし、情報の共有も大事。
- ・介護と医療の垣根をくずせるため すぐにはいえませんが可能ではある。連携できればいいと思います。
- ・歯科医師会で以前連携に係わらせていただき実際にうまく回りだしています。
- ・なにはなくとも継続することによる変化に期待したい。
- ・連携はお互いの職種の業務内容に線を引くのではなくて歩み寄っていく姿勢がお互いに感じられると実践していけるのではないかと思います。
- ・連携をせねばならない状況になると思う。
- ・やらないことよりやることではないでしょうか。気楽に話せる事ができるようになるので。
- ・色々な事例を通して共通認識としたい。
- ・各職種間にへだたりはあるがこのような会合を続けることができればへだたりは縮まるものと思う。
- ・実務の中でも徐々に深まっていることを感じている。交流が大切となる。

■設問6: 事例検討会やその他研修を通して在宅医療介護の連携が実現できると思いますか。

### 3: わからない、選ばれた方の理由

・それでも日常の業務に戻るとやっぱり薬剤師は単独もしくは医師との連携しか難しいのではないかと思います。

### 4: 思えない、選ばれた方の理由

コメントなし。



### ■設問:ご意見ご要望

- ・大変参考になると思います。反面我々の職種にとっては課題の残る勉強会でありました。(薬剤師)
- ・今後も機会があればぜひ参加のお誘いいただきたく有ります。
- ・同じような機会をもっと続けていただけるとうれしいと感じました。
- ・相談所の中にいると地域ニーズ連携がよくわかりませんでした。
- ・今は顔が見える話せる人がつながる場に参加できてよかったですと思います。
- ・在宅で人生をまっとうするためには現在の医療介護の現状では問題が多く、どうしても施設や病院での最期を迎えるということが普通の形となっている。在宅での最期を迎えるという事自体が認知症の有無を問わず困難であろう。
- ・事例のように在宅で人生をまっとうするためには各専門職が互いに熱意と努力で現実のハードルを超えることが可能になったと思う。
- ・専門職の熱意と努力次第そういう意味でとても価値のある会議出会ったと思う。
- ・すばらしい機会をありがとうございます。
- ・お疲れ様でした。勉強になりました。
- ・また開催していただきたいです。お疲れ様でした。
- ・初めての参加でしたが、今後の連携における在宅医療について期待が持てるのではと感じられた。
- ・。行政側のサポートに期待する。
- ・中林さんの貴重な経験、二年間かけての事例を聞いて大変良くわかりました。一言では感想を述べられませんが、よく頑張って対応したのだと伝わりました。
- ・認知症の方々はベッドの上での転倒のリスクが高いと思います。布団からのベットが抵抗がある方もいると思うので低床のベットを選定したのかを聞きたかったと思います。普通の低床ベットを導入すべきではと思いました。



### ■設問:ご意見ご要望

- ・すこしグループワークもあってほしい。
  - ・仕事が終わってからの参加ですと19時から時間的に厳しく、少し遅らせていただけると参加しやすい。
  - ・このような機会に医師や歯科医師の型が参加していただけるようになったこと、嬉しく感じました。
  - ・本日はありがとうございました。冷房が寒くて寒くて。
  - ・手作り感がありパネルディスカッションが良かったです。
  - ・限られた出席者数で残念です。
  - ・とてもよい事例検討会でした。このような機会にまた参加できればと思います。
  - ・企画していただきありがとうございました。本当にこれで良かったです。
  - ・日頃の自分の悩みを乗り越えるエネルギーになったように思います。ありがとうございました。
  - ・開業医が在宅についての薬剤師の必要性を全くわかっていない。
  - ・「お母さんはどうしたいの？」ではなく「お父さんだったらどうしてほしいだろうね？」と聞いてあげたい。家族といえども生死にかかわる決定は辛いと思う。後々残る後悔の年を少しでも小さくしてあげたいと思います。
  - ・貴重な事例検討会発表をきかせていただき有難うございました。
  - ・在宅看護における歯科の関わり。
  - ・看取りは私達の事業所でも常に関係する業務であり、答えがない分きちっと私達が考えを持たなければいけないということだと思います。
  - ・このような多職種の方たちの話し合いは大切だと思います。
- 区がこのような会を開催してくれたことに感謝します。
- ・今回の事例では本人の以降が全くみえなかった。その以降をくみとる努力が行われたかもわからない。
  - ・家族支援は重要であるが今回のテーマとして重要な事は何だったのか。
  - ・会場をもう少し大きくして参加者を増やしたほうがいいのではないかと思います。